

FIB-4 を利用した代謝機能障害に関連する脂肪性肝疾患の早期発見

Premier Integrated Labs Sdn Bhd、
クアラルンプール、マレーシア

主なパートナー / 関係者

Yoke Lee Low | Hareeff Muhammed | Leslie Charles Lai Chin Loy | Mun Yee, Evonne Kong

世界的な傾向として、代謝機能不全に関連した脂肪性肝疾患（MASLD）は、最もよく見られる肝臓疾患として浮上しつつあります。これは静かな流行病として、非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）、肝硬変、肝細胞がん（HCC）、末期肝疾患（ESLD）などにつながる可能性があります。肝疾患の早期発見は、罹患率と死亡率を最小限に抑えることにつながりますが、発見が困難な場合もあります。MASLD 診断の絶対的基準とされているのは肝生検ですが、生検には検体採取のエラーや継続的モニタリングの非現実性といった限界があります。非侵襲的な代替手段として FibroScan などが受け入れられていますが、高コストなため貧困国では利用しづらく、また肥満患者（BMI > 30 kg/m²）では MASLD 特定の有効性が低下するなどの限界も存在しています。代替手段としては肝機能検査（LFT）なども利用可能ですが、異常な結果が見逃されることが多いためプライマリケアで問題になる可能性があり、また一部の肝硬変患者は正常な LFT を示す場合もあります。

MASLD は無症状であることが多く、早期発見の必要性を考慮した米国消化器学会は、プライマリケアで MASLD のスクリーニング、診断、治療を行う臨床医のガイドとなる臨床ケア経路を導入しました。そこでの重要なコンポーネントが、線維症 -4（FIB-4）スコアリングシステムです。FIB-4 は、プライマリケアの現場で頻用されていてアクセスが簡単なパラメータ群（年齢、ALT、AST、血小板数）を利用するため、肝線維症グレーディングでの有用なツールとなります。

マレーシアの Premier Integrated Labs Sdn Bhd で FIB-4 による肝疾患スクリーニングが開始されたのは 2022 年 7 月のことで、その後現在までに 39,020 人の患者がスクリーニングされています。現時点で、5,662 人の患者が MASLD について「低または高リスク」と特定されました。33,358 人の患者は「低リスク」と分類され、それ以上の紹介は必要ありませんでした。FIB-4 をガイドとした早期のフォローアップと介入は、患者の転帰を改善しています。後者は、健康状態、入院の減少、欠勤の減少などを含めたものです。FIB-4 は臨床的意思決定の強化にも寄与し、その利用率は 74% に達しており、結果的に医療コスト全体を削減しています。



UNIVANTS[™]
OF HEALTHCARE EXCELLENCE